

地域の経済動向(令和5年4～6月期) 《道南(渡島・檜山)地域》

1 経済動向に係る企業等の声(4～6月期)

【建設業】

- ・ 売上は上向き傾向だが、燃料や資材の高騰、人件費の増加により利益は減少。(総合工事業)
- ・ 新卒で4名採用することができたが、人手不足な状況は変わらない。引き続き求人募集中。(総合工事業)

【製造業】

- ・ 売上・利益はコロナ禍前の8割程度まで回復。今期の業績は、前期より1.6倍程度上がる見込み。資材等は高騰しているが、商品への価格転嫁はしない。ワインはこれ以上高くすると売れなくなる。(酒類製造業)
- ・ 毎年新卒を募集しているが、応募が一件もない。(水産加工業)
- ・ 春に3名退職予定で、ブドウ畑のスタッフが不足。人材確保の支援が欲しい。観光客より働き手の確保のためにも移住者の受入体制を整備した方がよい。(酒類製造業)

【卸売・小売業】

- ・ 光熱費の上昇、仕入価格の高騰で利益が減少。(各種商品小売業)
- ・ 今年は雪解けが早く、灯油の売上が減少。ガソリンの販売も自動車の燃費向上のため減少傾向。(燃料小売業)
- ・ 観光客がコロナ禍と同水準に戻ってきており、全国旅行支援を使った国内客に併せて外国人観光客も多いが、中国からの観光客はほぼ見られない。(各種商品小売業)
- ・ 朝が早い仕事のため、仕事についてから待遇のミスマッチが原因で退職する人が多い。(卸売業)

【運輸業】

- ・ 乗務員不足が深刻で、運営が苦しい状況。様々に求人を行っているが、応募が少ない。今後、2024年問題もあり、更に状況は悪化し、乗務員不足は一事業者で解決できない問題となっているため、行政による制度改善などに期待したい。(道路旅客運送業)









【サービス業】

















- ・ コロナの行動制限緩和により、食事の店は、集客の回復、売上の増加の傾向だが、スナック等は回復にばらつきがある。(飲食・宿泊業)
- ・ 旅行会社の道外からのツアーや、工事関係者の宿泊が好調で、歓送迎会や総会など、会社や団体での利用はあるが、宴会などの一般客の利用が無い。(宿泊業)
- ・ コロナ禍で外食する習慣が薄れてしまったためか、土日は客が入るが、平日は閑古鳥が鳴く状態。(飲食店)
- ・ 売上は令和2年度の「Go To トラベル」時が最高で、3年度は大きく減少したが、4年度は2年度と同程度に回復。(宿泊業)
- ・ 電気代が2倍以上に値上がりしており、店舗少し暗くするなど節電対応を取らざるを得ない。(飲食店)
- ・ 補助金を活用しながら設備投資を行ったが、借入が大きくなり、今後の返済に不安。(宿泊業)
- ・ 前年に比べ売上は4割程度減少。従業員不足によりイベント出店を控えていたのが理由。(飲食店)
- ・ フロント、厨房等で3名を雇うことができたが、まだ足りない。(宿泊業)

2 道内金融機関から見た地域景況感(4～6月期)

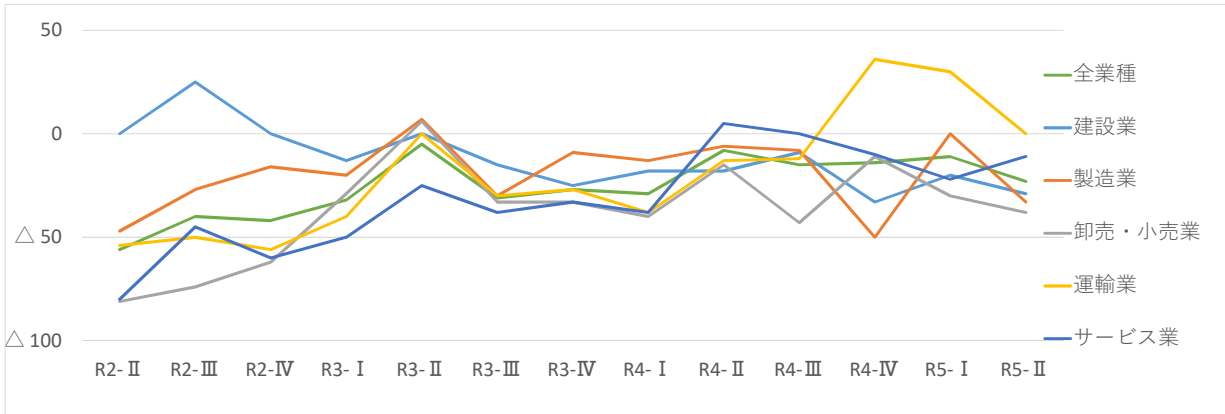
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
非常に好調	好調	やや好調	普通	やや低調	低調	非常に低調
						

【直近の景況感】

	現在の景況感				次期見通し	
	総合	生産 動向	消費 動向	判断理由	方向感	判断理由
渡島信用金庫				新型コロナウイルスが5類に移行され、一部観光関連の業種に持ち直しの期待感もあるが、原材料・燃料費等の高騰により早期に業況が回復となるものではないと考え、「やや低調」と判断した。		新型コロナウイルスが5類に規制緩和され、夏場の長期休暇を迎えるにあたり、人流の活性化に期待が持てるものの、各業種において物価や燃料費の高騰など、景況感が上昇傾向にあると判断する材料はまだ乏しいものと考えられる。
道南うみ街信用金庫				今期の業況DIは、概況で前期比15.4ポイント良化となった。売上額の動き、収益の動きは共に、前期比増加となり、なかでも、サービス業と卸売業で大幅な増加を示した。一方、建設業及び小売業では減少が見受けられた。総体的に若干の持ち直しが見られることから、前期の「低調」から「やや低調」と判断した。		次期の景況見通しは、概況で6.5ポイントの良化予想、売上額の動きで1.8ポイント、収益の動きで5.5ポイントと共に増加予想となった。しかしながら、業種別では建設業及び小売業ではマイナス予想となった。各業種共に慢性的な人手不足感もあり、今期の「やや低調」を脱する事は出来ないと思慮し「変わらない」と判断した。

	R3-Ⅲ	R3-Ⅳ	R4-Ⅰ	R4-Ⅱ	R4-Ⅲ	R4-Ⅳ	R5-Ⅰ	R5-Ⅱ
渡島信用金庫								
道南うみ街信用金庫								

3 業種別の業況感BSI(企業経営者意識調査)



	R2-II	R2-III	R2-IV	R3-I	R3-II	R3-III	R3-IV	R4-I	R4-II	R4-III	R4-IV	R5-I	R5-II
全業種	△ 56	△ 40	△ 42	△ 32	△ 5	△ 31	△ 27	△ 29	△ 8	△ 15	△ 14	△ 11	△ 23
建設業	0	25	0	△ 13	0	△ 15	△ 25	△ 18	△ 18	△ 9	△ 33	△ 20	△ 29
製造業	△ 47	△ 27	△ 16	△ 20	7	△ 30	△ 9	△ 13	△ 6	△ 8	△ 50	0	△ 33
卸売・小売業	△ 81	△ 74	△ 62	△ 29	6	△ 33	△ 33	△ 40	△ 15	△ 43	△ 11	△ 30	△ 38
運輸業	△ 54	△ 50	△ 56	△ 40	0	△ 30	△ 27	△ 38	△ 13	△ 12	36	30	0
サービス業	△ 80	△ 45	△ 60	△ 50	△ 25	△ 38	△ 33	△ 38	5	0	△ 10	△ 22	△ 11

4 各種経済指標

